

菫中学校のみなさん、おはようございます。新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、放送での始業式を行い、内容は私からのお話のみとします。3月から、3か月にわたる休業からようやく学校が再開され、みなさんが学校生活を送ることができるようになり、嬉しい限りです。しかしながら、同時に大変緊張しています。なぜなら、みなさんが生き抜くために必要な力、特に進路選択にも大きく影響する学力について、休業中の失われた授業時間をいかに取り戻していくか、限られた時間の中で、感染予防に配慮しながらみなさんの学力をどのように保障するのかを考えない日はなかったからです。

私たち教職員は、休業中も授業の再開に向けた準備に日々取り組んできました。休業中の学習内容を限られた時間で学んでいただくためにこれからの授業を進めていきます。授業中にしっかり理解できないところは、授業後、積極的に担当の先生に質問してください。

学習保障を優先するため、1学期については、予定されていた様々な行事は中止、または延期とします。クラブ活動についても6月15日からは段階的に実施されますが、感染予防に配慮した活動になります。物足りないと感じる人も多いと思いますが、ご理解ください。

学校が再開された今、菫中学校の生徒のみなさんの学習と心のサポートが最優先です。

本年度の本校の教育目標は、昨年に引き続き、1. 学力向上 2. 安心・安全な学校です。

休業中、菫中学校の生徒のみなさんは、不要不急の外出を避け、人との接触を可能な限り自粛しながら、自宅で自主的に課題学習に取り組み、新型コロナウイルス感染症拡大予防に努めていただきました。菫中学校の生徒のみなさんのご協力に感謝申し上げます。

新型コロナウイルスについては、治療薬やワクチンの開発は進んではいますが、完成時期は、未だ不透明であり、目に見えないウイルスへの脅威がなくなったわけではありません。これからは、新型コロナウイルスを完全に制圧するまでは、ウイルスと共存しながら、生活していくことになり、新型コロナウイルスとの戦いは長期戦になります。

ですから、みなさんの健康を維持しながら、安心・安全に学校生活を送っていただくためにも、感染症の専門家が提唱する新しい生活様式を取り入れた行動が大切です。そこで、感染のリスクを軽減するために、特に次のことをみなさんにお願いします。

1. 登校前の検温
2. マスクの着用
3. 丁寧な手洗いの徹底（休み時間に必要に応じて行ってください）
4. 食事前のアルコール消毒
5. 休憩時間中も可能な限り、ソーシャル・ディスタンスを徹底する
6. 使用したティッシュ類など、自分のごみは持ち帰る
7. ウォータークーラーの使用は控える（薬剤師の方からも感染リスクが高いと警告）
8. 大きな声での会話

これまでの学校生活とは違い、みなさんにはご不便をおかけいたしますが、みなさんの協力がなければ、感染を予防することが危うい状況になりかねません。みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

ホームページで新型コロナウイルス感染への不安から逃れるための心理的なメカニズムにより他者に対して攻撃的な言動にいたるようすが世界的な現象としてみられ、本来、戦う相手はウイルスであるにもかかわらず、感染に苦しむ人たちを命がけで支え、治療に専念し、尽力している医療従事者の方々やそのご家族、感染者の方々やそのご家族への心無いことばをはじめとして、他者を非難し、排除する残念な行動が発生していることを伝えました。

そこで、改めてみなさんをお願いします。大切にしてほしいことは、知りえた情報を冷静に分析し、判断する意識です。感染を予防し、この厳しい状況を乗り越えるためにも、批判的な考え方に陥ることなく正確な知識と理解を深めてほしいと思います。感染を予防するため、ソーシャル・ディスタンス、もしくはフィジカル・ディスタンスとも呼ばれる人と人との距離についての行動が必要とされる中で、今こそ、心の距離感が不可欠です。

不要・不急の外出を控えていた生徒のみなさんの中には、LINE などを通じたやりとりをしている人も多いと思います。LINE などの文字による辛辣な表現やことばも相手に与える影響は大変なものとなります。休業期間中に LINE で辛い思いをする人がもしいるならばすぐに私たちに相談してください。いないことを祈ります。

最初にお話ししましたが、感染拡大防止のため、学校では、必ずマスクを着用し、大きな声での会話は、控えていただくことになります。これからのみなさんには「ノンバーバル・コミュニケーション」を大切にしてほしいと思います。これは、発声による会話ではなく、表情による会話です。マスクで顔が隠れているので、目の使い方がポイントになります。

日本には、むかしから「目は口ほどにものを言う」ということばがあります。

感性豊かなみなさん一人ひとりの笑顔がソーシャル・ディスタンスによる物理的な距離を超え、心の距離感を縮め、仲間意識を育むことができると考えています。生徒のみなさんの笑顔と人を大切に思いやる心で、「堇ブランド」をより一層高め、学校が最も安心できる居場所となれば幸いです。